

【派遣者近況報告】



タイトル：アメリカ ダラス留学記

派遣者：鳥海 和也（東京都医学総合研究所 統合失調症プロジェクト）

派遣先：テキサス大学サウスウェスタンメディカルセンター（アメリカ）

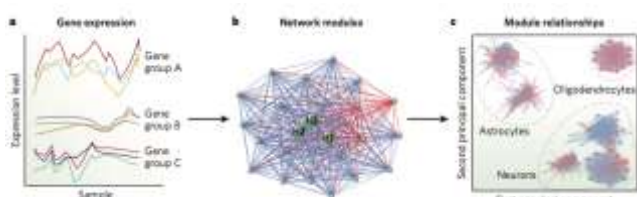
報告日：2016年5月12日



UTSW研究棟



新井誠先生 UTSW訪問時のセミナー後に
ラボのメンバーと



WGCNAによる遺伝子発現ネットワーク解析
(Geschwind & Konopka, Nature, 2009)

私の派遣先であるテキサス大学サウスウェスタンメディカルセンター (UTSW) はアメリカの南部、テキサス州ダラス市内にある全米トップ6に選ばれたメディカルスクールで、臨床から基礎まで幅広く研究を行っています。マウス行動解析コア、シーケンスコアなどの専門的な研究支援部門が学内に整備されており、Ph.D.を持つスタッフによる支援を受けることができます。さらに、併設されている病院との連携により、ヒト脳組織などの臨床サンプルを入手することも本学の大きな利点です。

私は約一年前からこちらに派遣を受け、遺伝学・バイオインフォマティクスを専門とするKonopka博士の指導のもと、ヒト特異的な分子基盤に基づく新たな統合失調症病態の探索を試みています。特に、次世代シーケンサーにより得られた膨大なデータから、関連する遺伝子発現ネットワークを抽出するためのWGCNAなどの解析技術の習得に努めています。

本プロジェクトを機にスタートしたKonopka研との共同研究ですが、この一年の間に主たる研究者が互いの研究室を初めて訪問し合い、活発な議論と交流を通じて良好な共同研究関係を構築することができたと感じています。